

■ 世界を魅了する観光体験の創出

観光の付加価値を高めるアドベンチャートラベルをはじめ、アイヌ文化や世界遺産など多彩な魅力を体験できる観光を推進します。

(政策展開の方向性)
 アドベンチャートラベル・ワールドサミット2023の開催を契機に、機運醸成やコンテンツの磨き上げ、質の高いガイドの育成などに取り組みます。また、アイヌ文化や北海道・北東北の縄文遺跡群世界文化遺産、知床世界自然遺産や国立・国定公園など本道の魅力をめぐる周遊体験型の観光を推進するとともに、新たな道立公園の整備や民間のノウハウの活用など魅力向上に向けて取り組みます。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
自然環境及び生活環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ○自然公園の適正な利用のための施設の整備・維持管理を実施【R4:19箇所】 ○「北海道フロンティアキッズ育成事業」(R4)では、道内6校の小学校5～6年生を対象にSDGsの視点を活用した環境教育を実施(R5は実施校を1校増やした7校で実施) ○「地域環境学習普及事業」のほか、「環境の村事業」ではR4に親子自然体験プログラム、エコサロン等を開催し、計71名の親子や教育関係者等にセミナーを実施 	0301
アイヌ文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ○「G7札幌気候・エネルギー環境大臣会合」や「日本・ハワイ州姉妹都市サミット」など国際イベント等を活用し、国内外にアイヌ舞踊を発信 ○アイヌ文化の理解促進に向け、各種広報媒体によるウポポイやアイヌ文化のPRを実施【R4:テレビCM89本、無料情報誌(JP01)作成・配布60,000部、PR動画の多言語版(7カ国)の作成・配信など】 ○アイヌ文化への関心を高めるため、アイヌ伝統料理アレンジレシピを開発・普及し、ホテル等で提供 	0314
北海道独自の歴史・文化の発信と継承	<ul style="list-style-type: none"> ○「北の縄文展2023 6Days in 札幌」を開催(R5.7～8) ○世界文化遺産登録記念シンポジウムを開催予定(R5.8) ○「北の縄文ポータルサイト」による統一的な情報発信(R5.6運用開始) ○デジタル技術(NFT)を活用したスタンプラリーを実施予定(秋口以降) 	0315
滞在交流型観光地づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の魅力を生かした観光地づくり推進事業において、DMO申請枠を導入し、ワーケーションや観光のDX化をはじめとする商品開発支援を実施【R4実績:DMO枠3件、地域単独枠54件、広域連携枠34件】 ○R3.7に北海道観光審議会に部会を設置し、新たなガイド制度について検討を進め、R5.7に施行・運営開始 ○アドベンチャートラベルの受入拡大に向け、ガイド育成研修を道内各地で開催【R2:9回、R3:23回、R4:21回】 ○道内を10のエリアに区分けし地域開発事業としてモニターツアーや旅行会社との意見交換等を実施し、OTA商品を掲載したほか、訪日外国人旅行者周遊促進におけるレンタカー活用のためのGoogle Mapデータ整備を実施 	0515
都市施設の整備・維持管理・更新の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○都市公園に係る社会資本整備計画の策定、推進管理について関係市町村に指導・助言 ○R6の長寿命化計画改定に向けた調査を各公園で実施 ○長寿命化計画に基づく都市公園施設の改築更新・バリアフリー化の推進を計画的に実施するため、都市整備事業担当者会議を開催し、都市公園に係る各種基準、事例発表等の情報共有を行い円滑に事業を実施 ○道立公園関係自治体等に対し、道立公園の整備や公募設置管理制度の導入に向けた説明など各種調整を実施 ○下水道施設に係わる社会資本整備計画の策定、推進管理について関係市町村に指導・助言 ○ストックマネジメント計画の策定や、計画に基づく改築更新等を計画的に実施 ◇白糠町泊別地区を12箇所目となる道立広域公園の候補地として決定、民間活力の導入に向けたマーケットサウンディング調査に着手 	0811

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ(「◇～」)より引用・作成